

公助

自助・共助・公助で守る。



2020年、阪神・淡路大震災から25年が経過し、東日本大震災から9年を迎えます。また、昨年10月には台風19号が日本列島を直撃し、市内では大平地区の浸水など様々な被害が発生しました。

近年、自然災害が激甚化、多様化そして多発化しているといわれるなかで、私たちは改めて災害から身を守る術を身につけ、防災・減災の心構えを持って、日頃の備えに取り組む必要に迫られています。沼津が「災害に強いまち」となり、暮らしやすいまちであり続けるためには、市民の皆さん一人ひとりの防災・減災につながる活動や意識が欠かせません。「もし、明日、大きな災害が起こるとしたら…」そんな風に考えた時、命を守る行動につなげるために、自助・共助・公助による防災・減災についてお知らせします。ぜひ皆さんも、自宅、地域などで防災・減災に対する備えを考えてみて下さい。

☎危機管理課 ☎055-934-4803

複合遊具があり、休日にはたくさん親子連れで賑わう片浜北公園。天幕を外すとかまどとして利用できるベンチや天幕をかける防災テントになるパーゴラ、貯水タンクなど、たくさん防災機能があります。



今一度、災害を考える

皆さんは、災害のことをじっくりと考えたことはありますか。災害対策基本法では、災害を「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害」と定義しています。すなわち、大雨や地震等により、私たちの生活や社会に影響を及ぼすことが「災害」といえます。

大きな台風が来てしまうこと、これまで経験したことのない規模の地震が起きてしまうことは私たちにどうすることもできないため、災害をゼロにするのは不可能です。しかし、例えば雨量が多くても、治水機能や防災活動が優れていれば、その被害を軽減させることは可能です。

過去の事例を振り返ると、広域的な大規模災害が発生した場合には、公助の限界についての懸念も指摘されています。

事実、阪神・淡路大震災では、7割弱が本人や家族も含む「自助」、3割が隣人等の「共助」により救出されており「公助」である救助隊による救出は数%に過ぎなかったという調査結果もあります。こうしたことから、災害に対しては公助だけに頼るのではなく自助・共助が重要であるといわれています。

人口減少や高齢化が進み、全国的に自主防災組織や消防団も減少傾向にあるなか、災害を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、私たち一人ひとりが防災活動に取り組んだり、減災意識を高め、具体的な行動を起こすことが必要です。

公助からみた

自助・共助の重要性

沼津市を含めた4市3町の消防に関する業務を担っている駿東伊豆消防組合。日頃から「公助」に従事する消防職員に「防災・減災のこと」について伺いました。

《基本の自助が身を守る》

出迎えてくれたのは沼津北消防署原分署の草場大介消防司令。緊急時の出勤のみならず、住民の皆さんに向けて、火災予防をはじめとした「自助・共助の重要性」を啓発する活動にも力を入れているそうです。

駿東伊豆消防組合の管轄は7つの市町にまたがっています。42万人以上の住民の消防・救急を担い、火災などの現場に迅速に駆けつけ、消火活動や救助活動を懸命に行っています。

しかし、いくつもの場所で被害が発生するような大災害時には、すべての現場に急行することは容易ではありません。だからこそ、まずは自分自身を

守るという気持ちが大切だといえます。

草場さんも「日頃から、自分自身と家族を守るといふ（自助）の考えを持つのが基本だと思えます。その延長線上に地域など互いに守るといふ（共助）がある。一概には言えませんが、自助がなければ共助や公助がうまく機能しない場合もあるんです。まずは基本である自助の考え方を大切にしてほしいです」と真剣な眼差しで話します。

草場さんの言葉は、自助ができていく人が多い地域ほど防災力・減災力が高いと言え換えることができそうです。家具の固定や防災リュックの準備など、まずは自らできる対策について行動を起こしてみましよう。

《共感することで強くなる共助》

共助の役割を持った取り組みに、地域の消防団があります。草場さんは消防団員は地域を守るといふ志が高い人が多く、とても尊敬しています。初動の迅速さなど本当に頭が下がる思いです。もちろん私たち消防職員も使命感を持って日々業務に取り組んでいます。地域や住民の皆さんにも、防災・減災についてもっと知ってもらえるように情報発信していきたいですね」と笑顔で話してくれました。

予防啓発活動では「教える」のではなく「共感してもらう」ことを心がけているという草場さん。その言葉は、私たちが自助・共助のことを考えるきっかけになりそうです。



駿東伊豆消防本部 沼津北消防署原分署 主幹兼消防係長 草場大介消防司令